

## 市長とPTAとの意見交換会 開催結果

○日時 令和2年7月2日(木) 午後6時～午後7時30分

○場所 桐生市市民文化会館 スカイホールA

### ○出席者

#### 【PTA】11名

桐生市PTA連絡協議会	会長	糸井	近夫
同	副会長	宮本	泰明
同	副会長	新居	壮介
同	書記	朝倉	康行
同	書記	高木	卓哉
同	会計	大屋	昌太
同	会計監査	星野	一彦
同	会計監査	岩本	いづみ
桐生市公立幼稚園PTA連絡協議会	会長	前原	喜久江
同	副会長	當山	由紀
同	副会長	玉川	由美子

#### 【桐生市】10名

桐生市長	荒木	恵司
桐生市教育長	柴崎	隆夫

#### 《教育委員会事務局》

教育部長	西場	守
教育部参事	前原	通宏
教育部総務課長	小山	貴之
教育部学校教育課長	飯泉	尚士
教育部学校教育課教育支援室長	柴塚	雄太
教育部生涯学習課長	藤川	恵子
教育部総務課教育未来室長	原橋	貴史
教育部総務課教育未来室教育未来係長	千葉	敦弘

#### 【報道機関】 2名

## ○意見交換会の内容

### 1 開会〔開始：午後6時〕 〈司会：教育未来室長〉

### 2 市長挨拶、第2期桐生市教育大綱の骨子説明 〈荒木桐生市長〉

(市長挨拶)

本日は、ご多用の中、「市長とPTAとの意見交換会」にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

また、皆様には、平素から教育行政をはじめ、桐生市政の各般にお力添えをいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、幼稚園や学校に通えない状況となり、子供や保護者の皆様も辛い日々を過ごしていたことと思いますが、皆様のご協力のおかげで、桐生市では、4月に陽性の方が2人出て以来、感染者の方が出ていない状況にあります。

本日は、第2期桐生市教育大綱を策定するに当たりまして、PTAの皆様のご意見をいただきたいと考えております。本来であれば、令和2年4月1日から第2期桐生市教育大綱をスタートする予定でありましたが、私が昨年5月に市長に就任し、第2期桐生市教育大綱については、多くの方としっかり議論をさせていただきながら策定したいと考え、1年間、先送りをさせていただきました。したがって、第2期桐生市教育大綱は、令和3年4月1日からスタートすることになります。

大綱というのは、桐生市における教育の目標や施策の根本となる方針を定めるものであります。

本日は、皆様には、普段、思っている教育の姿やあり方、また、これからの桐生市に対して取り組んでほしい教育について、それぞれのお立場の中でしていただきたいと考えております。

これから大綱の骨子について説明させていただきますが、意見交換では、骨子の中身に捉われることなく、皆様の教育持論というものをお話させていただきたいと思っております。

(第2期桐生市教育大綱の骨子説明)

#### 【スライド2】

それでは、早速、説明をはじめさせていただきますと思います。

はじめに、説明の流れですが、「1 現在の桐生市教育大綱」について、「2 第2期桐生市教育大綱の骨子」についての順にお話をさせていただきます。

#### 【スライド3】

まず、大綱策定の趣旨についてですが、

教育大綱は、地方教育行政法に、市長が地域の実情に応じて、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものと義務付けられています。

また、大綱の策定は、市長と教育委員で構成される「総合教育会議」において協議・調整を行うものとなっています。

桐生市では、平成27年度に教育大綱を策定し、今年度末をもって、対象期間が終了することから、今年度中に、第2期桐生市教育大綱を策定するものです。

#### 【スライド4】

現行の桐生市教育大綱は、「基本大綱」と「教育大綱の要旨」で構成されています。

基本大綱は、桐生市新生総合計画の施策の大綱の一つである「桐生を好きな子供の育成と生涯学習の推進」を大綱の柱としており、郷土桐生を誇らしく思う心を育む「桐生を好きな心豊かな子供」の育成と生涯学習が盛んなまちづくりを進めるとしています。

#### 【スライド5】

また、教育大綱の要旨については、「ふるさと桐生を再認識する事業の推進」「確かな学力と健康な体を育む事業の推進」「人を思いやる心やものを大切にすることを育む事業の推進」「自然・歴史・文化・人材など地域の教育資源を活かした事業の推進」「生涯学習の推進で心豊かな市民性の醸成と育成」「「スポーツライフ」を送るための環境づくり」となっています。

#### 【スライド6】

6つの教育大綱の要旨については、新生総合計画をベースとしつつ、力を入れる施策を列記した形となっており、「①ふるさと桐生を再認識する事業の推進」については、「桐生が育んできた幼児教育の更なる充実を図ります。」「学ぶ環境の更なる充実を図ります。」となっています。

#### 【スライド7】

「②確かな学力と健康な体を育む事業の推進」については、「きめ細やかな教育環境の整備に努めます。」「児童・生徒の学力と体力向上につながる施策を推進します。」「教育職員の資質の向上に努めます。」「食に関する教育環境づくりを推進します。」となっています。

#### 【スライド8】

「③人を思いやる心やものを大切にすることを育む事業の推進」については、「幼児・児童・生徒一人一人が自ら考える力の育成に努めます。」「社会の変化に主体的に対応できる「生きる力」を育成し、「生き抜く力」を養成します。」「『子供自身の悩み』から『親が抱えている子供に関すること』まで、幅広い相談体制の充実を図ります。」となっています。

#### 【スライド9】

「④自然・歴史・文化・人材など地域の教育資源を活かした事業の推進」については、「桐生ならではの特色ある教育の充実を図ります。」「郷土桐生の歴史・文化教育を推進します。」「地域人材や地域施設との効果的な連携を図ります。」となっています。

#### 【スライド10】

「⑤生涯学習の推進で心豊かな市民性の醸成と育成」については、「地域社会との連携を強化し、『地域の子供は地域で育てる』気運を高めます。」「『自分さがし、出会いさがし、ふるさと夢さがし』の事業の充実を図ります。」「広い視野を持てる子供たちの育成支援に努めます。」となっています。

【スライド 11】

最後に、「⑥「スポーツライフ」を送るための環境づくり」については、「生涯にわたり、市民がスポーツに親しめるよう‘いつでも、どこでも、だれでもスポーツを’の実現に向けた環境づくりを推進します。」「競技スポーツのレベル向上に努めます。」となっています。

【スライド 12】

次に、「2 第2期桐生市教育大綱の骨子」についてです。

【スライド 13】

第2期教育大綱の策定に当たり留意した点といたしましては、令和2年度からスタートした第六次総合計画との整合性、教育委員会との十分な協議・調整、そして、本日のようなPTAをはじめとする市民の皆様との意見交換を通じて地域住民の意向を反映することです。

【スライド 14】

第2期教育大綱のスケジュールとしましては、5月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、第1回総合教育会議をWEB会議という形で実施し、本日のPTAの皆様との意見交換会を経て、7月に第2回、8月に第3回、9月のパブリックコメント後、10月に第4回の総合教育会議を開催し、12月の市議会定例会に議案を上程する予定です。

【スライド 15】

第2期桐生市教育大綱につきましては、現行の教育大綱と同様に、市の最上位計画であり、今年度からスタートした「第六次総合計画」の基本構想や、教育分野に関する施策の方向性「教育・文化の向上」との整合を図りました。

また、国の第3期教育振興基本計画における5つの基本的な方針も参酌しました。

【スライド 16】

桐生市第六次総合計画では、8年後の目指すべきまちの姿である「将来都市像」を「感性育み 未来織りなす 粋なまち桐生」として、将来都市像の実現に向けたまちづくりの基本的な考え方である「まちづくりの基本テーマ（理念）」を「“感性”を育む人づくり」「“つながり”を生かしたまちづくり」として、これらを実現するための施策の大綱において、教育分野の施策の方向性を「教育・文化の向上」としています。

このため、本大綱では、「教育・文化の向上」の6つの分野別施策である「学校教育の充実」「教育研究の推進」「青少年健全育成の推進」「生涯学習の推進」「芸術・文化の振興」「スポーツの振興」と、第2期桐生市教育大綱の6つの基本方針を関連させ、「第六次総合計画」との整合が図られた内容としています。

【スライド 17】

次に、大綱の対象期間につきましては、「第六次総合計画」の計画期間や、市長の任期等を考慮し、令和3年度から令和5年度までの3年間としました。

#### 【スライド 18】

次に、大綱の構成につきましては、「基本理念」「基本方針」「施策」の3層としました。

#### 【スライド 19】

まず、基本理念につきましては、国の第3期教育振興基本計画を参酌しつつ、第1回総合教育会議における構成員の意見や桐生市第六次総合計画、市長公約の「桐生から世界に翔く人材を育てる『桐生独自の教育プログラム』の創出」に向けた取組を参考にし、「桐生の未来を担い、世界に羽ばたく人づくり」としています。

この基本理念は、第1回総合教育会議での構成員のご意見などを踏まえ、次の3点に基づいたものとなっています。

1点目は、地域の特色を生かした教育を通じて、桐生への愛着や誇りに思う気持ちを育むとともに、夢や志に挑戦するために必要となる力を育成し、桐生の発展を牽引する人材や世界を舞台に活躍する人材を育成すること。

2点目は、教職員の資質・能力の向上、学校施設の整備や学習環境の充実を図るとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの立場から子供の教育に責任を持ちながら相互に連携協力し、安全・安心で質の高い教育環境づくりを推進すること。

3点目は、生涯にわたって学び、文化芸術活動やスポーツに親しむ機会の充実を図り、市民の知識や感性を高めるとともに、身に付けた学びの成果や経験を地域での活動に生かしながら、元気に活躍し続けられる環境を整えることです。

#### 【スライド 20】

次に、基本方針につきましては、大綱の位置付けで説明させていただきました通り、本大綱では、第六次総合計画の6つの分野別施策を、教育大綱の6つの基本方針にしています。

#### 【スライド 21】

次に、各方針の施策についてですが、「①桐生ならではの特色ある教育をはじめとする学校教育の充実を図ります。」には、教育内容の充実として、「桐生ならではの特色ある教育の充実」「成長過程に応じた学習内容の充実」「専門教育の充実」「特別支援教育の充実」があります。また、教育環境の充実として、「施設・設備の充実」「教育の機会均等」「学校適正配置の推進」があります。さらに、学校給食の充実として、「学校給食の充実」「食育指導の推進」「効率的な運営の推進」があります。

#### 【スライド 22】

「②学力向上や生徒指導等における教育課題の解決につながる教育研究を推進します。」には、教育研究・相談機能の充実として、「教育研究・研修の充実」「教育相談の充実」「教育資料室の充実」があります。また、適応指導の充実として、「適応指導教室の充実」「相談体制の充実」があります。

**【スライド 23】**

「③学校・家庭・地域の連携を一層深め、環境浄化・非行防止活動を市民総ぐるみの運動として、青少年教育活動を推進します。」には、青少年の教育の充実として、「青少年保護活動の充実」「市民総ぐるみ『青少年健全育成運動』の推進」「相談機能の充実」があります。また、青少年教育施設の運営として、「青少年教育施設の運営」があります。

**【スライド 24】**

「④学校や地域、その他多様な主体との連携により生涯学習を推進します。」には、生涯学習の充実として、「生涯学習機会の充実」「社会教育の充実」「学校・地域との連携の推進」があります。また、社会教育施設の充実として、「公民館の充実と学習要求への対応」「図書館の充実」があります。

**【スライド 25】**

「⑤芸術文化活動を促進するとともに、文化財の保護・活用などを行い、市民の芸術・文化の振興を図ります。」には、芸術・文化活動の推進として、「文化活動の支援」「芸術文化活動拠点施設の充実」があります。また、文化財の保護・活用として、「文化財の保護・活用」があります。

**【スライド 26】**

最後に、「⑥いつでも、どこでも、誰でも楽しめるスポーツを推進します。」には、スポーツ活動の推進として、「スポーツイベントの開催・支援」「競技スポーツの推進」「生涯スポーツの推進」「団体・指導者の育成」があります。また、スポーツ施設の充実として、「スポーツ施設の充実」があります。以上が、第2期桐生市教育大綱の骨子に関する説明になります。

### 3 意見交換

発言者	発言内容
荒木市長	<p>冒頭に申し上げましたとおり、大綱に関する事以外にも、皆様が考えている教育のあるべき姿、推進してもらいたい教育内容について、忌憚のないご意見をお願いいたします。</p>
PTA役員	<p>PTAの役員を務めて9年目になりますが、色々な校長先生と意見交換をする中で、大人になるには自分だけでなく周りの学校や地域に支えられて大きくなったことを感じました。最初感じたのは、スクールゾーン対策委員会に参加した時に、子供の頃には、なぜここにガードレールがあるのか、なぜここに安全対策のものができたのだろうと不思議に思っていました。多くの方が協議してスクールゾーンが安全で安心して使えるようにしていることを知り、人に任せるのではなく一番身近なボランティアであると感じました。</p> <p>校長先生との話の中でも、高校の再編が終わると、次に小中学校の再編があるのではないかとという中で、黒保根地区では小中一貫校という話があります。梅田地区も人数が減ってきており、梅田の奥から中学校を超えて、清流方面に行くような状況にあります。もっと小中学校が連携したらよいのではとも思っています。そうすれば、小学校から中学校に進学する時の中学ギャップというものもなくなると思います。</p> <p>また、地域との関わりという点では、梅田地区は高齢者が多いが、子供の教育についてボランティアが当たり前になっており、梅田地区の児童・生徒数を考えると、スクールボランティアの登録数も多く、数年前には、群馬県スクールオブザイヤーの優秀賞を受賞しています。</p> <p>私は織物業を営んでいるため、娘の先生から見学させてもらいたいと依頼があつて以来、子供の見学を受け入れていますが、子供は目を輝かせながら見学や体験をしており、そういった子供から「頑張っている人を見て、僕も大人になったら桐生に戻ってここで仕事がしたい。」という話や、もう一人は、逆に「桐生で頑張っている人を見て刺激を受け、さらにステップアップするために桐生から全国や世界に出て頑張りたい。」という話を聞きました。桐生から出たいという話は、否定的に捉えがちですが、私がこれまで取り組んできたことは、間違いではないと感じました。桐生に戻したくて、就職の際にUターンしてほしいといいますが、大人になってから桐生に戻り就職してほしいという話をしても、生まれ育つ段階の中で、その経験をしていなければ、戻ってくるようにはならないと思っています。</p> <p>市内には、地域ごとに特色がありますので、義務教育の段階で地域ごとに自慢できるものや誇れるものをもっと体験させることにより、子供が大人になった時の選択肢を広げてあげる必要があると考えており、これは1年や2年ではなく、長いスパンのものに取り入れてもらうと良いと考えています。</p>

発言者	発言内容
荒木市長	<p>ありがとうございました。今のお話にもありました織物など、桐生が持っているものを子供が体験することによって、桐生に誇りと愛着を持つことにつながり、大人になっても桐生で育った体験が記憶に残り、桐生に戻ってくる仕組みの構築をするためには、まず、桐生の良さを子供に体験してもらい、見てもらうことの大切さを感じました。</p>
PTA役員	<p>大綱の骨子の中に、「桐生らしさ」や「桐生ならではの」という表現がありますが、市長が考える桐生は、どのようなまちでしょうか。</p>
荒木市長	<p>1つは、「人」です。郷土愛と自治意識を持った人で溢れるまちを目指す土壌があります。もう1つは、この地域が持っている歴史・文化・風土・伝統、織物産業に培われた1300年の歴史など、先人が築いてきた歴史資産や文化資産を観光資源として活用し生かしていくことです。その中で、多くの方が桐生を訪れ、地域の方が行っている各行事に参加していただき、いわゆる関係人口を増やして、最終的には交流人口が増えれば良いと考えています。</p>
PTA役員	<p>「桐生らしさ」について、桐生を出る前は何も感じなかったのですが、東京に出て働いて、家業を継ぐために桐生に戻ってきた時に、先ほどの話にあった「人」や、桐生が岡公園などの資源、桐生八木節まつりといった良さを感じたので、この教育大綱の中で、子供に教えてほしいと思います。</p>
荒木市長	<p>子供に対し、桐生が持っている特性や資産を具体的に示してあげて、子供に体験してもらうのが良いように感じました。ありがとうございました。</p>
PTA役員	<p>現在の教育大綱にある「スポーツライフ」についてですが、学校の敷地を使用するスポーツチームについては、スポーツが苦手な子供に向き合って、教えていくことのできる環境づくりをお願いしたいと思います。高額な月謝を払うクラブチームではなく、学校の敷地内や施設を使うチームである限りは、平等にスポーツを楽しむことができるように指導や管理をお願いします。子供の体力が低下傾向にあるようですので、今後も、野球やサッカーをやりたいと考える子供が一人でも増えるような対策をとっていただきたいと思います。</p>
柴崎教育長	<p>競技スポーツの振興だけでなく、スポーツが苦手な子供も運動好きにして、将来にわたって健康であり続ける必要がありますので、学校の中では自分自身の健康を考え、体育のように誰でもスポーツに取り組めるシステムを作りたいと考えています。社会体育的なものは競技スポーツのように上を目指して取り組んでいますが、学校では両方を大切にしたいと思います。</p>
PTA役員	<p>少子化が進む中で、部活動の廃止が進んでおり、子供の選択肢が減っているため、部活動を近隣学校と統合する形で実施することについて、市としてどのように考えているのかと、それに伴って先生方はどのような</p>



発言者	発言内容
PTA役員	に顧問を務めることになるのかを教えてくださいたいと思います。また、中体連が中止になったので、それに代わる大会を実施していただけるのかを不安に思っています。
荒木市長	私が中学生の頃は、たくさんの部活があり、入部先に迷った記憶があります。現在は、少子化の中で団体競技に人数が集まらない状況にあります。1つ学校だけでは、人数が集まらないので、各学校が集まって共同のチームを作って試合に臨んでいく必要があるように思います。私の娘は、ソフトボールをやりたかったのですが、人数が集まらず、野球部に入部しまして、部室が男女に分かれていなかったため、練習後に着替える際には不便を感じたようです。そうした環境の不便さなどについては、先生やPTAの皆様にご伝えていると考えています。また、中体連に代わる大会については、それぞれの競技ごとに、桐生市・みどり市独自の大会開催について検討しており、実施可能な競技を対象に調整を続けている状況です。
柴崎教育長	子供にとって、やりたい運動をできないことが一番可哀そうなことですので、環境を作る必要があります。中体連でも、人数の少ない競技については、連合チームを作って大会に出る機会を作っています。こうしたことは、少子化が一番の問題であり、教育委員会とすれば、一つの学校の中で子供が好きな部活を選択できるような状況を作ってあげたいと考えています。小中学校や高等学校の再編により、子供がやりたいと思うことができる、あるいは選択肢が増える状況を作ることが教育委員会の役割であると考えています。また、中学総体の代替の大会については、7月23日から26日までの連休中に実施できるように、各競技団体で実施方法を協議しているところです。協議がまとまり次第、ご報告できると思います。
PTA役員	部活動についてですが、先生も働き方を改革する必要があり、各部活の顧問を専門の先生が担当できない状況の中で、現行の大綱の中の『『スポーツライフ』を送るための環境づくり』に関して、地域の力を活用すると良いのではないかと考えており、学校に地域の方が協力するような形ができないものではないでしょうか。何かあった時にどうするのかという議論が学校や保護者からありますが、そういった形があると、子供の心の教育という面でも良いのではないかと考えています。
荒木市長	地域の方が部活動に協力する外部指導員という制度があり、私も西中学校の外部指導員として野球を教えたことがありました。当時は、外部指導員が大会に入れなかったため不便を感じたことがあり、外部指導員の方にどこまで責任や権限を与えるかという課題があったように思います。
前原教育部参事	現在は、外部指導員が大会中もベンチに入ることができるようになっています。また、外部指導員とは別に部活動指導員という方がおり、監

発言者	発言内容
前原教育部 参事	督として指導ができるようになっていきます。また、部活動指導員は、先生でなくてもできるものです。
荒木市長	スポーツだけでなく、将棋や囲碁、百人一首などの文化活動についても、高齢者が中学生と接点を持つ機会があり、生涯学習の推進の一環にもなっており、そうした取組が広がると良いように思います。
PTA役員	息子が中学校でバスケットをやっており、市外で外部指導の先生の罵声が酷いという問題があったので、外部指導には不安もあります。
荒木市長	スポーツには勝敗があるため、多少興奮することはあると思いますが、罵声を浴びせるとか、子供に品のない言葉を使うことは、良いことではありませんので、そういったことがないように見守る必要があると思います。
PTA役員	<p>息子が桐生工業高校の染織デザイン科を卒業して、市内の染色関係の企業に就職しています。桐生の良いところの1つは、学校に染織デザイン科があることですが、少子化の影響で、昨年か一昨年にくらいに定員が20人に縮小されてしまいました。桐生の良いところは、染色や機織りであり、桐生織は全国的にも有名でありますので、県立高校の話になってしまいますが、桐生愛や郷土愛を育むためにも、桐生の特色である染織を学べる染織デザイン科の定員を増やすようにしてほしいと思います。また、染織に関係する進学先が市内や県内にないため、京都に進学するしかなくなってしまうことを残念に思っています。</p> <p>高校生の娘は、動物が好きで、動物に携わる仕事をしたいと考えていますが、市内には動物に関する専門学校がありません。桐生が岡動物園があることを生かして、動物について学べる専門学校が桐生にあると良いと思います。今ある桐生の特色や良さを広げていくと良いのではないかと思います。桐生は、たくさんの小中学校、高等学校、群馬大学理工学部がある学園都市ですので、統廃合で使わなくなった学校を専門学校という形で再利用して人を呼ぶというように活用しても良いのではないかと思います。専門学校が太田、前橋、伊勢崎にあるため子供が外に出てしまいますが、専門学校や大学が桐生にあれば、市外から人が来るので、そうした人にも桐生を好きになってもらえば更に良いのではないかと思います。</p>
荒木市長	<p>桐生には、ものづくり文化があり、染織に関する様々な工程が残っている産地であり、これが桐生の強みであると思っています。そうした中で、私も、ものづくり学校があれば良いと以前から思っていました。これから、統廃合が進むということになるとしたら、今のお話も選択肢の一つとして考えてみたいと思います。</p> <p>また、染織に関する就職先が桐生になくて、京都に行ってしまうというお話がありましたが、桐生工業高校の染織デザイン科を卒業後、美術系の大学に進学し、桐生に戻りたいと考えても、染織に関する市内企</p>

発言者	発言内容
荒木市長	業には新たに人を雇える体力が十分でない状況にあります。桐生で勉強したいと考えている若者がたくさんいるのですが、その若者の受け入れができていないところが残念であると感じていますので、しっかりと対策を立てていきたいと考えています。桐生に魅力を感じてくれている若者が、他の地域に行ってしまうことがないように、研究・検討したいと考えています。
柴崎教育長	桐生は織物のまちとして栄え、そうした背景があつて桐生に群馬大学理工学部があり、工業高校の染織デザイン科があるといえますので、今のお話をとても感心して聞いていました。いずれにしても、桐生の良さはたくさんありますので、そういう中で子供が育ち、桐生のことをいつも考え、また機会があれば、桐生に戻ってきてくれるような子供を育てたいと考えています。
PTA役員	新型コロナウイルス感染症対策の影響で、先生が除菌作業を行っておりストレスを抱えている状況にありますが、その影響が子供に出てしまうことを不安に思っています。また、教育の質が低下してしまうことも考えられますので、市が除菌作業を行うことや、市が補助員を派遣できると良いのではないかと思います。
荒木市長	先生のそういった声を把握できた段階で協議をすることになりますが、子供のために地域のボランティアという形で、学校の除菌や掃除を行ってもらえれば、開かれた学校にもつながるのではないかと思います。まずは、実態の把握に努めたいと思います。
柴崎教育長	<p>学校現場では、先生が大変な苦勞をしているのだらうと思います。消毒液やマスク、シートなどは、学校からの要望をいただいて対応しているところですが、なかなか人の補充までは難しい状況にあります。先生は、子供が帰った後に、除菌作業を行っていると聞いており心配しています。</p> <p>一つご相談なのですが、子供が安全に通学できるように、PTAの皆様には月に1回程度交通当番をお願いしていますが、新型コロナウイルス感染症の除菌作業についてもご協力をいただけないかと考えているところです。先生には、子供の指導に集中してもらいたいと考えておりますので、またPTAの会議でご相談させていただければと思います。</p>
PTA役員	「学校教育の充実」の中で「学校給食の充実」について、桐生市では、第3子から学校給食が無料になっていると思いますが、第1子や第2子から給食を無料にする計画や案はあるのでしょうか。
荒木市長	今のところ考えていません。
柴崎教育長	大綱の骨子の「学校給食の充実」については、食育の指導や給食の栄養バランス等について充実を図るという内容になっています。無料化については、今のところ考えていない状況です。以前、市長に給食を無償化する余裕があれば、他のことに予算をつけていただきたいとお話した

発言者	発言内容
柴崎教育長	ことがあります。経済的に大変な家庭に対しては、準要保護などの形で給食費を支援しているところですが、もし、PTAの皆様から給食費の無料化について要望が出てくるのであれば、今後、検討していかなければならないと考えています。
荒木市長	そういった声がかかりの数でPTAの皆様から出てきた場合には、検討しなければならないと考えています。なお、桐生市で給食費を1年間無料にしますと、4億円かかる試算になります。
PTA役員	先ほどの教育長の返答の中で、他の設備に費やした方が良いというお話がありましたが、他の設備にはどのようなものがありますか。
柴崎教育長	もし、予算を確保できるのであれば、例えば、学校のパソコンなどの設備を考えていますが、他にも、備品や施設の改修、教材費などを更に充実できればと考えています。
PTA役員	他の設備については、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、ズームなどのウェブ会議システムをイメージしていたのですがいかがですか。
柴崎教育長	教育委員会としては、今後、検討していかなければならないと考えています。その際には、大綱の骨子にも「教育研究・研修の充実」という項目があるように、設備だけでなく、先生が設備を使いこなせるように研修体制の充実も図る必要があると考えています。
荒木市長	アフターコロナを考えた時に準備しなければならないのは、仕事と教育であると考えており、桐生でもテレワークのような仕事のやり方ができると同時に、教育環境も整備する必要があります。教育でもリモート化やオンライン化が進む中で、桐生市では、子供にICTスキルを身に付けさせる教育に取り組んでいることを首都圏に情報発信する必要があると思います。
柴崎教育長	これまでもICTの教育は行っていますが、今後は、ますます加速させていく必要があると考えており、先生の研修内容もICT分野が中心になると思います。
荒木市長	今年度中に1人1台のパソコンを整備する方向で進めているところですので、子供がそうした設備を上手く活用できるようにしたいと思います。
PTA役員	<p>結婚後、桐生に来たため桐生の教育については良く分かりませんが、子供が学校で桐生のことを勉強して、家で話をしてくれる様子を見て、子供が桐生のことを好きになっていると感じています。野外活動センターや昆虫の森、織物参考館などに連れて行ってもらい、桐生の良さを学んでいるようなので、今後もそうした取組を続けてほしいと思います。</p> <p>夫は桐生出身で、仕事の都合で桐生から出ていたこともありましたが、最後は桐生に戻ってきたいと言っています。また、友人も桐生に戻ってきたいと言っている人が多いように思います。</p>

発言者	発言内容
荒木市長	そう言ってもらえると、とても嬉しいですし、とても励みになります。
柴崎教育長	私も桐生出身ではありませんが、桐生はとても良いまちだと思います。「桐生を好きな子供」を育てることはとても良いことであると思っています。例えば、桐生八木節まつりの際には、たくさんの方が桐生に帰ってきて仲間と顔を合わせることができますが、他の地域では、仲間再開する機会があまりないように思います。また、自然環境に恵まれ、動物園もあり、とても素敵なまちであると思います。
PTA役員	新里地区は、農業が盛んで、地域の方にご協力をいただき、子供が田植えや刈取りの体験をするなど、この地域ならではの教育が浸透しているように思いますが、新里・黒保根・桐生の地域ごとの教育方針について違いがありますか。
荒木市長	<p>地域性を生かした特色ある教育という部分では、地域ごとに違いがありますが、学力に関しては地域で格差が生じることのないように教育しています。</p> <p>先日、「おむすびの会」という団体と意見交換を行ったのですが、特色ある教育について質問があり、黒保根地域では小中一貫の教育を進める方向性の中で、学区をなくし全国から入学できるようにするなど、黒保根地域の特色を出しながら進めてきたいと考えています。西町インターナショナルスクールとの連携や、郷土芸能の湧丸獅子舞「ささら舞」なども地域の特色であると考えています。</p>
柴崎教育長	合併以前、黒保根は勢多郡の先生との交流があり、合併後は桐生市の先生との交流を図っており、教育については、それぞれの地域の特色を生かしつつも、統一した教育課程を行っています。
PTA役員	<p>教育大綱と趣旨が違いますが、子供が登校する距離が遠い状況にあり、路線バスを通学に活用することはできないのかという思いがあります。子供の教育を考えた場合、公共交通を子供の頃から使っていれば、大人になっても抵抗なく使えるように思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>川内小学校の旧川内北小区域は基本的にスクールバスで、旧川内南小区域は徒歩で40～50分くらいかけて通学している状況にあります。また、通学路の道路整備も不十分な箇所がありますので、それらを含めて路線バスの活用はできないのでしょうか。</p>
荒木市長	<p>状況を確認し、協議させていただいた上で連絡をさせていただきたいと思っています。貴重なご意見、ありがとうございました。</p> <p>県議時代に飛騨高山を視察し、子供が約1時間30分くらいかけて山を2つ超え、学校に通っている話を聞きました。通学の際には、6年生から1年生までの5～6人がまとまって帰るというもので、その状況が良い悪いという訳ではありませんが、子供は風邪を6年間ひかず、上級生が下級生の面倒をみるという話を思い出しました。</p>
PTA役員	昨年、娘がコロンバス市にホームステイに参加することができ、貴重

発言者	発言内容
PTA役員	<p>な体験をさせていただきました。娘はとても幸せだったと話しており、それ以降、英語に対する考え方が変わり高校に入学しました。以前、市P連のアンケートを行った際にも話に出たのですが、野外学習センターやALTを活用しながら、イングリッシュキャンプのようなものを2泊3日くらいでできると良いのではないかと思います。ホームステイは、費用もかかり各学校から参加できるのも1名だけなので、誰でも参加ができて、桐生の子供が英語を苦に思わないような環境ができると良いと思います。また、周りの大人も英語に対するハードルが下がり、後々、観光誘致を考えた際にも有効であるように思います。</p>
荒木市長	<p>コロンバス市へのホームステイは、出発式や報告会で子供の話を聞くと本当に良い事業であると感じています。</p>
飯泉学校教育課長	<p>ホームステイは、子供にとって素晴らしい経験になるものなので、こういった機会は継続や拡充、あるいは、これを生かした行事や企画を考えていきたいと思っています。</p>
荒木市長	<p>それでは、時間となりましたので、長時間、ありがとうございました。具体的な教育大綱の施策に反映することについては、皆様の本日のご意見が、どこの部分にどのように反映されるかについて、しっかり検証していきたいと思っています。</p> <p>また、今回は、教育大綱を策定するというこで、こういった機会を設けさせていただきましたが、そのほかにも、「市長のふれあいトーク」や「出前講座」というものがあります。今後も、こういった意見交換をさせていただきたいと思いますので、引き続き、ご要望や反映してほしいお考えがありましたら、遠慮なくお話いただきたいと思います。本日は、ありがとうございました。</p>

#### 4 閉会〔終了：午後7時30分〕 〈司会：教育未来室長〉